凌霜ラガー通信

No.60号 2008年(平成20年)2月(1P)

連絡先：〒630-0213 生駒市東生駒4-500-58
千歳和秀 ☎ 0743(74)8938

平成19年度 －関西大学リーグ戦績－

大学Bリーグ 健闘するも最終結果は8位で終わる。入替戦は回避。

	摂南大	大阪産業大	花園大	大阪経済大	関西大	京都大	甲南大	大阪教育大	神戸大	大阪大	勝	負	分	順位
摂南大		○ 59—10	○ 79—0	○ 113—3	○ 44—22	○ 81—7	○ 92—0	○ 93—0	○ 86—5	○ 101—10	9	0		1
大阪産業大	● 10—59		○ 27—15	○ 91—0	○ 25—15	○ 49—6	○ 51—10	○ 65—0	○ 58—17	○ 120—7	8	1		2
花園大	● 0—79	● 15—27		○ 75—34	○ 24—22	○ 51—29	○ 54—10	○ 52—7	○ 38—10	○ 79—14	7	2		3
大阪経済大	● 3—113	● 0—91	● 34—75		● 28—42	● 38—41	○ 36—19	● 15—43	○ 39—13	○ 80—5	3	6		6
関西大	● 22—44	● 15—25	● 22—24	○ 42—28		● 12—15	○ 46—5	○ 60—15	○ 28—23	○ 102—7	5	4		5
京都大	● 7—81	● 6—49	● 29—51	○ 41—38	○ 15—12		○ 46—10	○ 29—24	○ 27—22	○ 46—3	6	3		4
甲南大	● 0—92	● 10—51	● 10—54	● 19—36	● 5—46	● 10—46		○ 20—12	○ 32—17	○ 55—0	3	6		7
大阪教育大	● 0—93	● 0—65	● 7—52	○ 43—15	● 15—60	● 24—29	● 12—20		● 10—43	○ 45—0	2	7		9
神戸大	● 5—86	● 17—58	● 10—38	● 13—39	● 23—28	● 22—27	● 17—32	○ 43—10		○ 63—17	2	7		8
大阪大	● 10—101	● 7—120	● 14—79	● 5—80	● 7—102	● 3—46	● 0—55	● 0—45	● 17—63		0	9		10

2007年度試合結果

副将 **芝野 大樹**

主務 **豊島 慶雄**

今シーズン、Bリーグでの上位進出を目標とする神戸大学は、チーム・モットーを「リベンジ」と定めて、チャレンジ精神を前面に打ち出し、試合に臨みました。選手は100%力を発揮し善戦しましたが、最終結果2勝7敗でBリーグ第8位で終了。入替戦は回避しました。

大経大戦、京都大戦 及び関西大学戦ではボールの支配も勝り、テリトリーも確保し、殆ど敵陣でプレーしていただけに惜敗したのは非常に残念と云わざるを得ません。

入替戦は、12月8日鶴見緑地Gで行なわれ、Bリーグ9位の大阪教育大はCリーグ2位の大阪学院大を下し残留を決めましたが、B10位の大阪大はCリーグ1位の帝塚山大に破れ、陥落しました。

9月23日（日）14:00K.O（於）大経大G

▲神戸大 13 － 39 ○大阪経済大学

前半	0	T	2		後半	1	T	3
	0	GK	2			1	GK	2
	1	PG	1			0	PG	1
	1	DG	0		計	7	－	22
計	6	－	17					

【戦評】

前半開始から敵陣でプレーし、ドロップゴールで先制するもすぐにトライを取られ逆転されてしまう。その後、再びペナルティーゴールを決めて1点差とするが、その後相手にペナルティゴール、トライを許し、6対39まで離されてしまう。後半27分1トライを返すが反撃はここまででノーサイド。勝てるチャンスがあったもののラインアウトディフェンスやキックチェイスのディフェンスが上手く機能せず、相手に得点を重ねさせたことが悔やまれる。

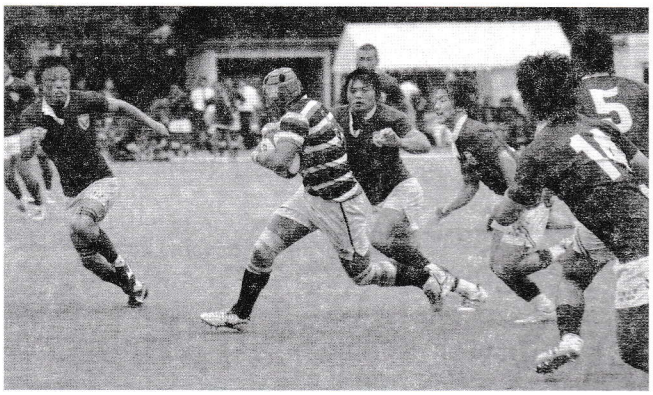
9月30日（日）14:40K.O（於）西京極G

▲神戸大　10－38　○花園大学

前半				後半			
	1	T	4		1	T	2
	0	GK	2		0	GK	2
計	5	－	24	計	5	－	14

【戦評】

秋雨降る京都西京極グラウンドでの試合。開始からモール・ラックで3トライを取られ、大きく離されてしまう。その後神戸大も1トライ返すものの、再びトライを許し5対24で前半終了。後半FWのメンバーを大きく代えて臨むが、後半最初のトライも花園大に許してしまう。その後両チーム共に1トライを加えてノーサイド。前後半ゲームの入りで相手に先制点を許さなければもっと良いゲームが出来たかも知れない。



10月6日（土）13:00K.O（於）大経大G

▲神戸大　17－58　○大阪産業大学

前半				後半			
	1	T	6		1	T	4
	1	GK	1		1	GK	3
	1	PG	0	計	7	－	26
計	10	－	32				

【戦評】

前半開始早々1トライを奪われるが、神戸大もペナルティーゴールで点差を詰めていく。しかし、その後は相手に点差をつけられ、インターセプトから1トライを返すものの10対32で前半を折り返す。後半も体格で勝る大産大相手に一人ひとりのタックルがきちんと決まらず、また数人掛かりで止めた後の数的不利を衝かれ、相手のペースで試合を進められてしまう。後半24分にFWが一丸となってラインアウトモールを押し込み意地を見せるが、終わってみると17対58で春の対戦に比べると大差の敗北であった。

10月21日（日）11:00KO（於）深江G

▲神戸大　17－32　○甲南大学

前半				後半			
	0	T	1		2	T	4
	0	GK	0		2	GK	2
	1	PG	0		0	PG	1
計	3	－	5	計	14	－	27

【戦評】

試合開始から堅いディフェンスで相手を押さえるが、なかなか敵陣でプレーすることが出来ず、神戸大のペースに持ち込めない。

そんな中、相手に先制点を許してしまう。その後、神戸大はペナルティーゴールで得点を詰める。そしてこの侭、両チーム得点することが出来ずに3対5で前半終了。後半、甲南大に先に2トライを奪われ3対15とされるが、神戸大も1トライを奪い返して10対15と逆転圏内に相手を捕らえる。その後甲南大がもう1トライを奪い引き離そうとするが、神戸大も1トライを取り返し再び5点差とし逆転のチャンスを窺う。しかし、甲南大にペナルティーゴールを許し8点差とされると、終了間際にもう1トライを許し17対32でノーサイド。何度となく逆転する機会があったが、相手にトライを許し逆転できなかった処が非常に残念であった。



10月28日（日）14:00KO（於）深江G

○神戸大　43－10　▲大阪教育大学

前半				後半			
	2	T	0		5	T	1
	1	GK	0		3	GK	1
	0	PG	1		0	PG	0
計	12	－	3	計	31	－	7

【戦評】

試合開始から相手のライン攻撃で幾度となくピンチを迎えるが、全員一丸となって守り抜く。そして11分、ラインアウトモールから今

期初の先制トライを奪い、神戸大の流れを作る。その後も 1 トライを奪い、前半終了間際にペナルティーゴールを許したものの 12 対 3 とリードして前半を終える。後半開始直後、インターセプトから神戸大が押し込み点差をさらに拡げる。その後、大教大の BK 攻撃で 1 トライ奪われるが、すぐさまトライを奪い返す。

その後もトライを重ね、43 対 10 で快勝。ゲームの入りで幸先よいトライを奪い、終始良い流れで試合が運べた。それも一人ひとりの気持ちとチームとしてのゲームプランが上手く噛み合ったからであった。

11 月 4 日（日）14:00KO（於）深江 G

▲神戸大　5 － 86　○摂南大学

前半	1	T	7	後半	0	T	7
	0	GK	4		0	GK	4
計	5	－	43	計	0	－	43

【戦評】

今期、大量得点を続ける摂南大を深江グラウンドに迎えてのリーグ戦の第 6 節。大型外国人留学生を擁する摂南大が試合開始から終始ゲームを支配する。

神戸大は、27 分に 1 トライを奪うのみで防戦一本であった。その侭、相手に攻め続けられ 5 対 81 という結果に終わってしまった。大差で敗れはしたものの、恐らく A リーグでも通用するであろう摂南大の攻撃力を前に学び成長する所の多い試合であったと思われる。

11 月 18 日（日）14: 00KO（於）大経大 G

▲神戸大　22 － 27　○京都大学

前半	2	T	0	後半	1	T	3
	1	GK	0		1	GK	3
	1	PG	1		0	PG	1
計	15	－	3	計	7	－	24

【戦評】

前半風上に立ち有利に試合を進める。ペナルティーゴールで先制すると、風を見方に付けてキックで陣地を取って行くと FW が押し込み 2 トライを奪う。京大にペナルティーゴールを許すも前半 15 対 3 で折り返す。しかし後半は風上に立った京大に試合の主導権を握られる。神戸大の反則もあり後半開始から自陣に張り付けにされると、京大の FW の圧力に屈し後半 20 分までに逆転され、15 対 27 とされる。その後、神戸大も自陣を脱して相手陣に迫るもトライを奪うに至らない。40 分に何とか 1 トライを奪うもののノーサイド。22 対 27. 前半風上でもっとリードして折り返せなかったこと、後半に反則を重ね自らピンチを招いた点を反省し、リーグ戦残りの 2 試合に全力を尽くすことを誓う。

11 月 25 日（日）13: 00KO（於）花園第 2G

○神戸大　63 － 17　▲大阪大学

前半	5	T	1	後半	6	T	2
	2	GK	1		2	GK	0
計	29	－	7	計	34	－	10

【戦評】

前節からの嫌な流れを断ち切るべく臨んだ阪大戦。神戸大が開始早々相手のキックをチャージし、その侭トライ。幸先よくリードを奪ったのも束の間、こちらのキック処理のミスを衝かれ、5 対 7 と逆転されてしまう。一瞬ひやりとしたが、その後は神戸大がモール、展開攻撃で順調にトライを重ね 29 対 7 で前半を終了する。後半になっても神戸大の勢いは衰えず、さらに 6 トライを奪う。結果、63 対 17 と大量得点に満足する部分もあったが、前半 1 本、後半 2 本と相手にトライを許し、必ずしも快勝とは言えない結果であった。

12 月 2 日 (日) 14: 40KO (於) 関西大 G

▲神戸大　23 － 28　○関西大学

前半	0	T	4	後半	3	T	0
	0	GK	4		1	GK	0
	2	PG	0	計	17	－	0
計	6	－	28				

【戦評】

遂に迎えたリーグ最終戦。

前半、関大のライン攻撃の前に苦戦を強いられる。相手に 4 トライを奪われるものの神戸大は敵陣でのペナルティーゴールで着実に得点を加え、6 対 28 で折り返し、逆転を信じ後半に全てを賭ける。

後半 12 分、先制点は神戸大が相手ボールをインターセプトしてのトライ。その後も相手の攻撃を抑え、神戸大が 28 分、33 分とモール、ラ

ックサイドを突き連続でトライを奪い返し、最大22点と開いた点数を23対28と5点差まで詰め寄る。そして終了間際、神戸大は自陣でのスクラムとかなり不利な立場に立たされるが、連続攻撃でボールを繋ぎ、敵陣22Mを越えてゴール前でのFW戦に持ち込む。しかし、力及ばず、ここでノーサイド。平成19年度のリーグ戦が幕を閉じた。

最終戦、敗れはしたものの、最後の最後まで逆転の可能性を残した熱い試合であり、このチームの一年間の成長が存分に発揮されていた。

第6回ラグビーワールドカップ2007が開催される！

4年に一度の祭典、ラグビーワールドカップがフランスをメイン舞台として、9月7日から10月20日まで開催されました。6大会連続の出場となる桜ジャージーの全日本は、ニュージランドの英雄・ジョンカーワンをヘッドコーチに迎え、「サムライ魂」を胸に、日本人の特徴である俊敏性、瞬発力を生かした「世界一速く、低く、激しい」ラグビーを標榜してワールドカップ戦に臨みました。

一次リーグ、プールBに入った日本の対戦相手は、オーストラリア、ウエールズ、フィジー及びカナダである。各グループの2位迄が決勝トーナメントに出場できる。また、3位までが次回大会にシード国として予選が免除されるゆえ、是が非でも2勝はしなければならない。

世界ランク17位のジャパンは、9月8日の緒戦でオーストラリアに91対3で大敗した。続く9月12日の第2戦のフィジーには31対35で惜敗したけれども、9月21日の第3戦のウエールズには、72対18で大敗し、早くも予選敗退が決まった。しかしながら、9月26日の最終のカナダ戦には、後半ロスタイムに劇的なトライ、ゴールを決め、辛うじて12対12で引き分けた。1991年、ジンバブエ戦に勝って以来、16年ぶりの通算2勝目を逃したが、W杯連敗を13で止めたのは健闘と称えるべきでしょうか。

優勝杯のウェッブ・エリスカップは、強豪ニュージランドや、オーストラリアでも無く、南アフリカがイングランドを降し、手中に収めました。

会費納入・ご寄付のお願い

当OB会の運営及び現役への補助は、すべてOB各位からの会費、寄付金で賄われております。

恐れ入りますが、未納者は大至急、納入してくださいますようお願い申し上げます。

年会費　10,000円

○三井住友銀行 天満橋支店
　普通預金　No.957978　凌霜ラガークラブ

○三菱東京UFJ銀行 大阪駅前支店
　普通預金　No.27557　凌霜ラガークラブ

○郵便局 00960-4-302152　凌霜ラガークラブ

ラグビー部員の不祥事事件

平成19年の世相を表す漢字は「偽」でした。食品の品質・性能の偽装や年金問題などが次々と明るみに出た一年でした。大学ラグビー界においても同志社大学の目的略取未遂事件、関東学院大学の大麻問題など、寂しい出来事が発生しました。ラグビーは紳士のスポーツ言われており、このような不祥事はラガーマンとしての恥ずべき行為です。勝敗に拘るだけでなく、いま一度原点に戻ってコンプライアンスを見直し、襟を正すことが肝要です。ラガーマンとしての誇りを忘れず取り組んでほしい。

神戸大学ラグビー部OB会のホームページにようこそ！

OB会では、ホームページを開設しています。是非、アプローチしてください！

http://www2.odn.ne.jp/aaq98260/index.html

現役ホームページにもアプローチしてください！

http://koberfc.fc2web.com

E－Mail 活用してOB相互の連絡を！

OBの会員の方で、e-mail address を取得されている方は、事務局にご連絡ください。

Mail to : kobe-u-rfc-ob@par.odn.ne.jp

神戸大学ラグビー部事務局
理事　吉川 邦英 氏（S51卒）
〒542－0083
大阪市中央区東心斎橋2－1－1
タカラベルモント（株）内